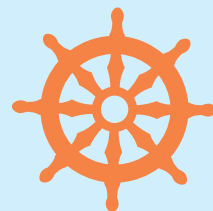


個人型確定拠出年金

iDeCo

イデコ

運用商品ナビ



iDeCo(イデコ)は個人型確定拠出年金の愛称です。

401k個人型年金プラン<東京海上日動>

運用商品ガイドおよび最新の運用実績等については、ホームページで確認いただけます。

東京海上日動イデコ

検索



個人型確定拠出年金



運用商品と手数料



ここからアクセスしてください。



iDeCo
普及推進キャラクター
「イデコちゃん」

ファイナンシャルプランナー(FP)と考える

運用の“コツ”

- 運用商品ラインアップ
- 資産配分例
- iDeCo×運用
- 各種手数料

※この資料は、個人型確定拠出年金の説明を目的としており、個別の運用商品の販売や推奨を目的としたものではありません。また、2019年4月1日時点の制度・税制をもとに作成しております。

東京海上日動

運用商品ラインアップ

運用商品の詳細および最新の運用実績等については、ホームページからご確認ください。



2019年4月1日現在

区分	商品コード	商品名	商品概要	信託報酬率(年率・税込)	信託財産留保額	委託会社	
国内債券	パッシブ型	01282	東京海上セレクション・日本債券インデックス	●主に日本の債券に投資します。 ●ベンチマークに連動する投資成果の達成を目標とします。	0.1512%	—	東京海上 アセットマネジメント
	パッシブ型	01283	東京海上セレクション・外国債券インデックス	●主に外国の公社債に投資します。 ●ベンチマークに連動する投資成果の達成を目標とします。	0.1944%	—	東京海上 アセットマネジメント
外国債券	アクティブ型	00050	東京海上セレクション・外国債券	●主に外国の国債に投資します。 ●ベンチマークを上回る投資成果を目標とします。	1.1232%	—	東京海上 アセットマネジメント
	パッシブ型	01559	野村新興国債券インデックスファンド(確定拠出年金向け)	●新興国の公社債を実質的な主要投資対象とします。 ●ベンチマークの中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行います。	0.5940%	—	野村 アセットマネジメント
国内株式	パッシブ型	01612	東京海上・日経225インデックスファンド	●日経平均株価(日経225)に採用されている銘柄を主要投資対象とします。 ●ベンチマークに連動する投資成果の達成を目標とします。	0.2430%	—	東京海上 アセットマネジメント
	パッシブ型	00052	東京海上セレクション・日本株TOPIX	●東京証券取引所第一部に上場されている銘柄を中心に、ベンチマークとの連動性を考慮し組入れを行います。 ●ベンチマークに連動する投資成果の達成を目標とします。	0.6480%	—	東京海上 アセットマネジメント
	アクティブ型	00056	東京海上セレクション・日本株式	●主に日本法人の株式に投資します。 ●中長期的にベンチマークを上回る投資成果を目標とします。	1.6200%	—	東京海上 アセットマネジメント
	パッシブ型	01284	東京海上セレクション・外国株式インデックス	●主に外国の株式に投資します。 ●ベンチマークに連動する投資成果の達成を目標とします。	0.2160%	—	東京海上 アセットマネジメント
外国株式	アクティブ型	01604	大和住銀DC海外株式アクティブファンド	●インターナショナル株式マザーファンドへの投資を通じて、海外株式への分散投資を行い、リスクの低減とグローバルな企業への投資機会の獲得により、信託財産の長期的な成長を目指します。 ●中長期的にベンチマークを上回る投資成果を目指します。	1.7496%	—	三井住友DS アセットマネジメント
	パッシブ型	01367	野村新興国株式インデックスファンド(確定拠出年金向け)	●新興国の株式を実質的な主要投資対象とします。 ●ベンチマークの中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指して運用を行います。	0.6048%	—	野村 アセットマネジメント
国内REIT	アクティブ型	01605	三菱UFJ(DC)J-REITファンド	●わが国の金融商品取引所に上場している(上場予定を含む)不動産投資信託証券への投資を行います。	0.9180%	—	三菱UFJ国際投信
外国REIT	パッシブ型	01560	野村世界REITインデックスファンド(確定拠出年金向け)	●世界各国の不動産投資信託証券を実質的な主要投資対象とし、ベンチマークに連動する投資成果を目指して運用を行います。	0.5724%	—	野村 アセットマネジメント

※投資信託商品は元本確保型の商品ではありません。どの運用商品も元本割れの可能性があります。
※信託報酬率、信託財産留保額は、2019年4月1日時点のものです。今後、変更となる場合があります。

区分	商品コード	商品名	商品概要	信託報酬率(年率・税込)	信託財産留保額	委託会社	
投資信託商品	パッシブ型	01606	三菱UFJプライムバランス(8資産)(確定拠出年金)	●日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券を実質的な主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。 ●各資産の指数を独自に合成した指数をベンチマークとし、当該ベンチマークに連動する投資成果を目指します。	0.3456%	—	三菱UFJ国際投信
		01535	東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	●主に国内の複数の資産(債券・株式・不動産投資信託)に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。 ●当ファンドの運用は、ファミリーファンド方式により行います。	0.9072%	—	東京海上 アセットマネジメント
		01607	トレンド・アロケーション・オープン	●円建ての外国投資信託であるダイナミック・マルチアセット・プラス・ファンドの受益証券への投資を通じ、先進国の国債、世界各国の上場投資信託等を主要投資対象とします。 ●当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	1.1704% 程度	—	三菱UFJ国際投信
	バランス	01611	東京海上・年金運用型戦略ファンド(年1回決算型)	●主に国内外の複数の資産(日本債券、日本株式、外国債券、外国株式)に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。 ●公的年金の基本ポートフォリオを参照し、各投資対象資産の基本資産配分比率を決定します。	1.3446%	—	東京海上 アセットマネジメント
		00054	東京海上セレクション・バランス30	●主に国内外の複数の資産(日本株式、日本債券、外国株式、外国債券)のマザーファンド受益証券および短期金融資産へ分散投資し、中長期的な信託財産の成長を目指します。 ●当ファンドの運用は、ファミリーファンド方式により行います。	1.0260%	—	東京海上 アセットマネジメント
		00053	東京海上セレクション・バランス50		1.2312%	—	東京海上 アセットマネジメント
		00057	東京海上セレクション・バランス70		1.4148%	—	東京海上 アセットマネジメント
元本確保型商品	預金	00002	三菱UFJ銀行確定拠出年金専用1年定期預金		—	三菱UFJ銀行	

金融商品の主なリスクの種類

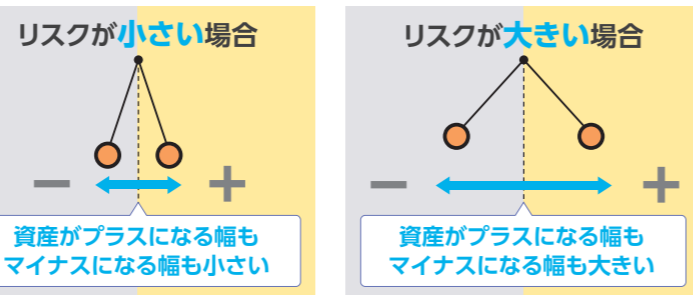
	価格変動リスク	投資信託に組入れられている株式や債券の価格が変動するリスクです。政治経済、個々の会社の業績、景気などの動向、為替や商品などの市況等が株式や債券の価格に影響を及ぼしています。
	金利変動リスク	市中金利の変動により、投資信託に組入れられている債券の価格が変動するリスクです。債券価格は、市中金利が上昇すると下落し、市中金利が下落すると上昇します。一般的に債券価格の変動幅は、償還までの期間が長いほど大きく、短いほど小さくなります。
	為替変動リスク	外国株式や外国債券などに投資する投資信託の基準価額は、為替レートの変動による影響を受けます。円高になれば基準価額はマイナスに、円安になれば基準価額はプラスになります。
	信用リスク	債券を発行した国や企業などが、財政難や経営不振などによって利息や償還金を、あらかじめ定めた条件で支払うことができなくなるリスクです。
	インフレリスク	インフレ(物価の上昇)により、お金の実質的な価値が減少するリスクです。

運用商品は、これらのリスクにより価格が変動します。



リスクってなんだろう？

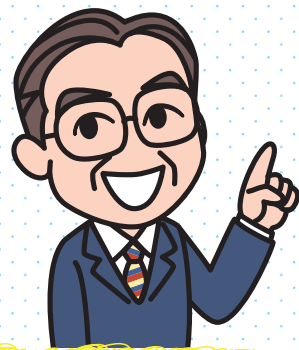
リターンはリスクの大きさに比例します。



- 一般的にリスクというと「危険」と捉えがちですが、運用におけるリスクは、**投資したお金がふえたり減ったりする「ブレ」**を指します。リターンとは、投資した金額と受取金額の差額(プラスの場合とマイナスの場合があります)を指します。
- リスクが大きい場合は、リターンも大きくなり、リスクが小さい場合は、リターンも小さくなります。

安心してiDeCoをはじめるために

iDeCo × 運用



Q1 知識や経験のない私でも、運用できるのでしょうか。

● iDeCoにおける運用は、大切な老後資金を準備することが目的です。このため、「趣味の投資」ではなく、地道にお金に働いてもらう「仕事としての運用」が求められます。

自分の相場観に頼ってタイミングをみながら投資する「趣味の投資」には、ハラハラドキドキがつきものです。一方、「仕事としての運用」は、将来的に成長が期待できる投資対象に長期分散投資することで、リスクをコントロールしながら資産形成を目指すものです。相場観や特別な運用スキルは不要です。

● 大切なことは、お金にしっかりと働いてもらうための「投資観」をもつことです。

iDeCoの運用“7箇条”

1. お金にも働いてもらう。
2. “相場観”ではなく、“投資観”をもつ。
3. 自分が許容できるリスクの程度を知る。
4. 「長期」「分散」「積立」でリスク・コントロールを継続する。
5. 投資信託を活用したポートフォリオ運用を基本にする。
6. 年に一度は運用成果を確認して、資産配分を見直す。
7. 一喜一憂せず、コツコツ続ける。

Q2 iDeCoで運用する際の“コツ”を教えてください。

● 長期資産形成を目指すiDeCoでは、「長期」「分散」「積立」の重要性を理解したうえで、運用商品を選択することが重要です。

iDeCoでは、年金や一時金を受け取るまでに最低でも5年間の運用期間があります。つまり、誰でも自動的に長期投資ができる仕組みです。また、定期的に掛金を拠出する積立投資ですから、投資時期も分散されます。さらに、国内外の株式や債券など異なる資産に分散投資することで、リスクをコントロールしながら安定的な収益の確保を目指します。

長期投資

■ 投資対象の成長には、時間が必要です。

例えば、長期的な成長が見込まれる企業に投資して、予想通り企業が成長すれば、すべての株主が利益を得ることができます。情報量や資金量ではプロにかなわない個人投資家にとって、頻りに売買を繰り返して継続的に利益を得続けることは容易ではありません。着実な利益を目指すなら、時間はかかるかもしれませんが、長期投資で企業や経済の成長を待つことが王道といえます。

分散投資

■ 安定的に資産をふやしていくには、大きく儲けようとするのではなくブレを抑えた運用が大切です。



積立投資

■ 「積立投資」により、投資時期の分散を図ることで短期的な値動きに左右されることなく安心して運用を続けることができます。

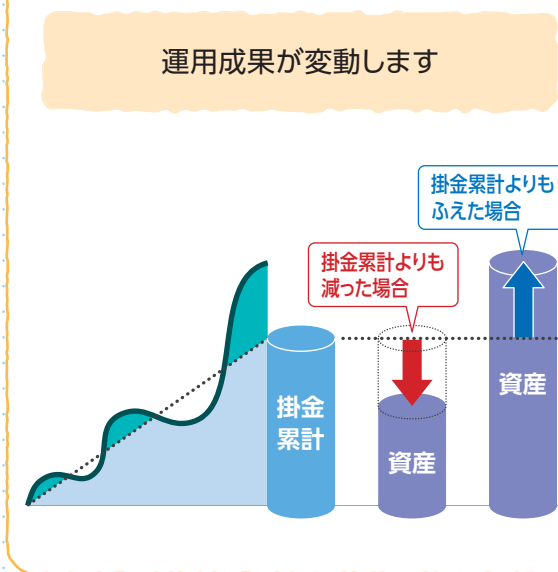
神戸孝さんに聞くiDeCo運用の“コツ”

Q3 運用商品には、どのようなものがありますか。

● iDeCoの運用商品には、預金・保険等の元本確保型商品と、リスクはあるもののより大きな収益が期待できる投資信託の2種類があります。

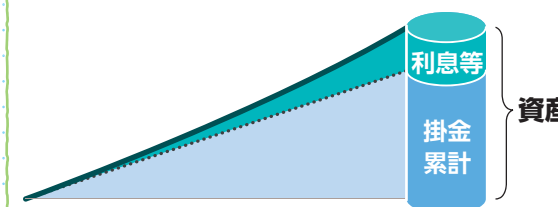
● 投資信託を活用すれば、運用は初めてという方でも“分散投資”をかんたんに実践できます。

投資信託商品



元本確保型商品

利息(利息相当分)が
上乘せられます



Q4 元本確保型商品100%の運用も可能ですか。

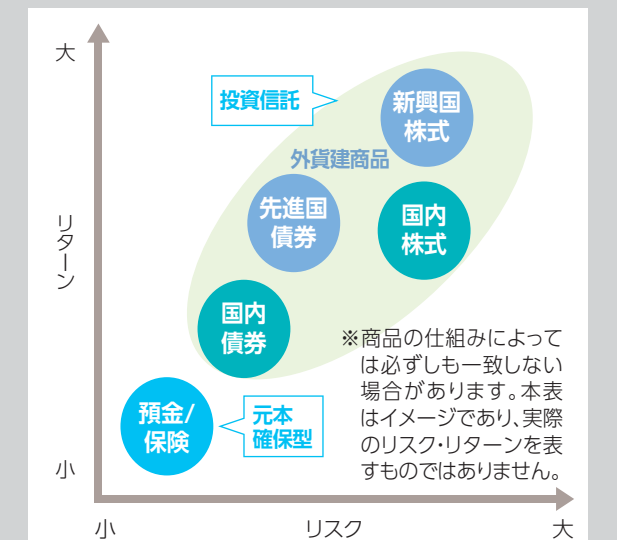
● 元本の安全性を重視したい方は、元本確保型100%で運用することも可能です。また、元本確保型と投資信託を組み合わせれば、安全性と収益性のバランスをとることができます。

例えば、元本確保型の運用商品をベースにして、少しだけ投資信託を組み合わせるといった方法もあります。この場合、株式比率の低いバランス型の投資信託を利用するとさらにリスクを低く抑えることができます。

Q5 できることならリスクはとりたくありません。

● まずは、金融商品ごとに、リスクの大きさや特性、リターンとの関係性を理解すると共に、自分はどの程度のリスクまでなら、許容できるのかを考えることが大切です。

金融商品のリスク・リターン(イメージ)



※商品の仕組みによっては必ずしも一致しない場合があります。本表はイメージであり、実際のリスク・リターンを表すものではありません。

上図は、縦軸がリターン、横軸がリスクを表しています。左下に位置する金融商品ほどローリスク・ローリターン、右上に位置するほどハイリスク・ハイリターンの商品といえます。

投資信託商品のいろいろ

Q6 投資信託商品には、どのような種類がありますか。

- 投資信託商品は、運用する金融商品によって大きく9種類に分類されます。
- 種類の異なる投資信託を組み合わせることもできますが、運用が初めての方なら数種類の投資信託がパッケージになったバランス型を利用する方法もあります。様々な種類(投資対象、運用手法、コスト)がありますので、ご自身の投資観やリスクの許容度にあった商品を選択してください。

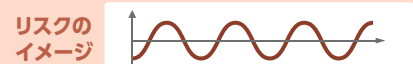
国内債券型(主に国内の債券に投資)

特徴 債券の利息(クーポン収入)や債券価格の変動等により基準価額が影響を受けます。



国内株式型(主に国内の株式に投資)

特徴 株式の配当金や株価の変動等により基準価額が影響を受けます。



国内REIT型(主にオフィスビルや商業施設、マンションなどの不動産に投資)

特徴 不動産の賃貸・売買市場、金利の変動等により基準価額が影響を受けます。

バランス型

(国内債券・外国債券・国内株式・外国株式を組み合わせる投資)

特徴 国内債券・外国債券・国内株式・外国株式等をあらかじめ組み合わせた運用商品のため、異なる資産への分散投資を自動的に行うことができます。

● 資産配分比率を固定するタイプ
株式や債券等の比率をあらかじめ固定するものです。組入比率により、リスクの大きさが異なります。

● 資産配分比率の調整を行うタイプ
リスク量に注視しながらマーケットの状況に応じて資産配分の変更を行うことで、安定した投資成果を目指すファンドです。特定の資産が価格変動に与える影響を抑制し、市場下落時の抵抗力を高めることを目指します。

外国債券型(主に外国の債券に投資)

特徴 国内債券型の特徴に加え、外国為替相場の影響を受けます。



外国株式型(主に外国の株式に投資)

特徴 国内株式型の特徴に加え、外国為替相場の影響を受けます。



外国REIT型

特徴 国内REIT型の特徴に加え、外国為替相場の影響を受けます。

マネーパール型

特徴 短期の公社債等、比較的安全性の高い金融商品に投資するため、元本割れの可能性は低くなります。

その他

特徴 上記以外の特定の資産を中心に投資をします。

投資信託の運用手法

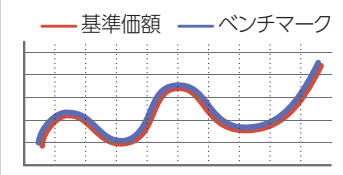
投資信託商品には大きく2つの運用タイプがあります。

- 投資信託商品には運用の目標とする指標(ベンチマーク)を定めているものがあります。

例えば、日経平均株価に連動するようなパッシブ型のファンドは、日本の大手企業全体に投資するようなイメージです。一方、アクティブ型は、運用の専門家(ファンドマネージャー)が独自のマーケット分析や企業調査などを行って投資する市場や資産、銘柄を選択し、売買を判断します。このため、パッシブ型に比べて運用にかかるコストが高めになる傾向があります。

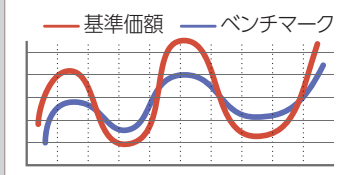
パッシブ型

ベンチマークと同じ成果を目指す運用タイプです。インデックスファンドともいいます。



アクティブ型

ベンチマークを上回る成果を目指す運用タイプです。運用の専門家(ファンドマネージャー)が独自の調査・分析に基づき銘柄を選択し、売買を判断します。



! どちらの運用タイプも運用成果は保証されません。また、アクティブ型の運用成果が必ずしもパッシブ型を上回るわけではありません。

“ポートフォリオ運用”が基本

Q7 iDeCo運用の“コツ”を教えてください。

- いくつかの運用商品を組み合わせる運用することを“ポートフォリオ運用”といいます。自身のリスク許容度に応じて組み合わせることが大切です。
- 年齢、収入、預貯金の有無などにより、リスクに対する考え方にも変化が生じます。また、運用環境や経済の見通しなどに変化が生じる場合があります。このような場合は、いつでも運用商品を変更することが可能です。

変更することが可能です。

例えば、若いうちは、リスクがあっても高い収益を期待できる商品で運用し、資産がたまったら、リスクの低い商品に預替えて安定運用に切り替えるといった方法もあります。運用期間が長ければ、一時的に資産が目減りしても挽回のチャンスがありますが、受給時期が近づいたら、資産をふやすというよりも減らさないような運用を考える必要があります。

- 運用状況や資産残高は、年に一度届く「確定拠出年金・残高のお知らせ」で確認できますので、必要に応じて、運用商品の預替え(たまった資産の変更)や運用割合変更(掛金の変更)を行うと良いでしょう。

神戸孝 かんべ・たかし

早稲田大学法学部卒業。三菱銀行(現三菱UFJ銀行)、日興証券(現SMBC日興証券)を経て、1999年FPアソシエイツ&コンサルティングを設立。日興証券勤務時代を合わせるとFP歴は約30年、資産運用に強

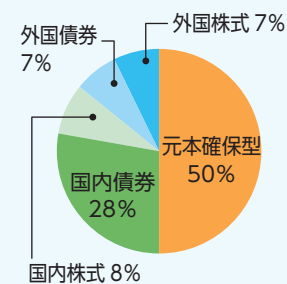
いFPの第一人者として評価が高い。日本FP協会理事、金融庁金融経済教育研究会委員、同金融審議会専門委員などを歴任する。



基本的なモデルポートフォリオ

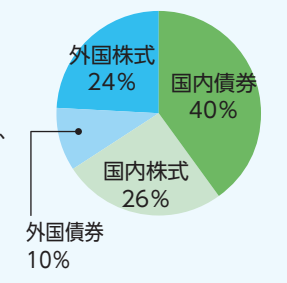
(例) 安全性と収益性のバランスを重視したい

元本確保型や比較的小さい商品に運用資産を多く配分することにより、時間をかけて着実に運用資産をふやしていくことを目指すタイプです。価格変動リスクを抑えたい方に適しています。



(例) ある程度のリスクをとっても積極的に運用したい

株式など、相対的にリスクの大きい商品の配分を多くすることによって、中長期的な運用資産の成長を重視して運用するタイプです。運用期間の長い方や価格変動リスクをある程度許容できる方に適しています。

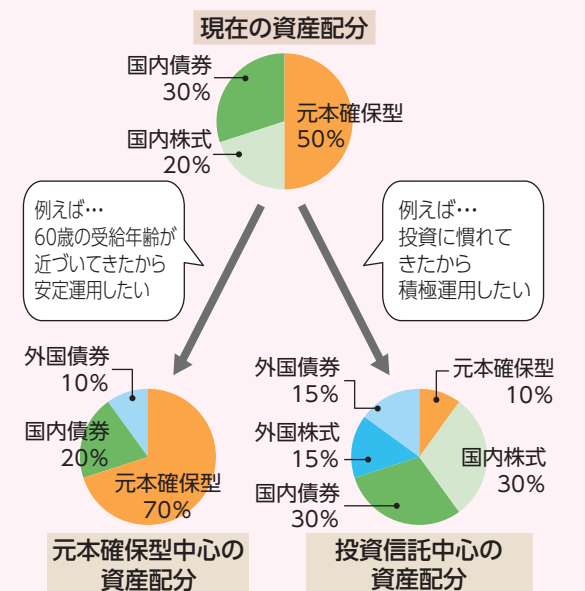


(例) 絶対に元本割れは避けたい

すべての運用資産を元本確保型商品で運用するタイプです。高い収益性は望めませんが、積立金のお受取りを間近に控えて資産残高を維持したい方や元本割れは避けたい方に適しています。



資産配分割合の見直し例



※上記で示したポートフォリオはあくまでも目安ですので、最終的にはお客様ご自身でご判断ください。

各種手数料

● 投資信託商品にかかる手数料

	手数料	内容
購入時	販売手数料	販売会社に支払う手数料です。 確定拠出年金では多くの場合、販売手数料はかかりません。
運用中	信託報酬	運用会社等に支払う手数料です。 商品の資産残高から毎日差し引かれ、基準価額に反映されます。
売却時	信託財産留保額	売却時にかかる手数料です。 一部の商品のみにかかります。

- 投資信託商品で運用する場合、運用成果にかかわらず、一定の手数料がかかります。この手数料は投資信託商品の資産残高から自動的に差し引かれます。
※投資信託商品の手数料は「運用商品ガイド」をご確認ください。

● 国民年金基金連合会から委託を受けた以下の機関が業務を行います。

受付金融機関	東京海上日動火災保険株式会社
運営管理機関	東京海上日動火災保険株式会社
再委託先運営管理機関	日本レコード・キーピング・ネットワーク株式会社
事務委託先金融機関	三菱UFJ信託銀行株式会社／日本マスタートラスト信託銀行株式会社

● 加入者・運用指図者の手数料(税込)

実際に運用される金額は、下表①～④の手数料が差し引かれた後の金額になります。

2019年4月1日現在

	a.加入者*1	b.運用指図者*2	支払先	支払方法
①加入手数料	2,777円		国民年金基金連合会	初回掛金または移換金(個人別管理資産)から差し引かれます。
②事務取扱手数料	拠出1回あたり 103円	—	国民年金基金連合会	拠出時に掛金から差し引かれます。
③事務委託先手数料	月額64円*3	月額64円	三菱UFJ信託銀行/ 日本マスタートラスト信託銀行	a.加入者:拠出時に掛金から差し引かれます。 b.運用指図者:前年12月～当年11月の該当月分は、翌年3月に資産から差し引かれます。
④運営管理手数料	月額313円*3	月額258円	東京海上日動火災保険	a.加入者:拠出時に掛金から差し引かれます。 b.運用指図者:前年12月～当年11月の該当月分は、翌年3月に資産から差し引かれます。

*1 加入者とは、ご自身で掛金を拠出する方です。

*2 運用指図者とは、これまで積み立てた資産のみ運用する方または年金受給者です。

*3 複数月分の掛金をまとめて拠出する場合は、月額手数料に当該月数を乗じた額が差し引かれます。

● その他の手数料(税込)

- 受給に関する手数料 事務委託先手数料 ————— 1回あたり 432円

※受給に関する手数料は給付金から差し引かれます。

- 還付に関する手数料 国民年金基金連合会 ————— 1回あたり 1,029円
事務委託先手数料 ————— 1回あたり 432円

※還付について

国民年金保険料の未納期間に拠出した掛金、加入者資格を有しない期間に拠出した掛金、および拠出限度額を超えて拠出された掛金については、還付されます。その際、手数料は還付金から差し引かれます。

● 脱退に関する手数料

	脱退要件	手数料
企業型確定拠出年金の加入者であった方	企業型の脱退要件を満たす	432円
	個人型の脱退要件を満たす	4,104円
個人型確定拠出年金の加入者または運用指図者であった方	個人型の脱退要件を満たす	432円
国民年金基金連合会に自動移換された資産がある方	個人型の脱退要件を満たす	4,104円

※以前に加入していた企業型確定拠出年金の運営管理機関等により、別途手数料がかかることがあります。